

社会・文化

経済

政治

WORLD

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 美食文学逍遙—福田育弘
- 42 新・不養生のすすめ—大西睦子
- 51 西風
- 59 交差点—読者の声・編集者の声



訓練ばかりの陸上自衛隊は常に余剰人員を抱える巨大組織。災害派遣は唯一の見せ場だ。ただ、消防・警察と比べて異常に高コスト。費用対効果を考え、装備も安価な災害専門部隊の創設も検討すべきだ。(110頁)

- 88 皇室の風—岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話—佐伯順子
- 94 本に会う—河谷史夫
- 96 をんな千一夜—石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし
- 100 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 政官界に浸透する「大樹総研」
- 104 ドイツ・オペラ界に日本人の「新星」—本場で花開く演出家「菅尾友」
- 106 「ゲマ異変」に震える北海道—「出沒急増」が映す人間社会の歪み
- 108 滅びゆく「大学出版会」
- 110 自衛隊「災害派遣」—美談の陰に隠された「重い課題」

- 60 鴻海がシャープを売却する日
- 62 電力三社「中間貯蔵施設」で仲間割れ—使用済み核燃料で青森を怒らす愚
- 64 「出光と創業家」遠い大団円—経営統合後も続く「難儀な関係」
- 67 連載「クローズアップ」
- 68 連載「企業研究」三井住友海上火災
- 72 スルガ銀行「解体処分」の現実味—不動産「不正融資」は底なしの様相
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」東日本銀行—横浜銀行に「丸呑み」される運命
- 80 株価つなぎ上り「エーザイ」の憂鬱
- 82 日本郵船「本社ビル」に重大な欠陥—高砂熱学がまたも「手抜き工事」
- 84 伊藤忠は「商社首位」に返り咲けるか—ユニファーマITO Bをめぐる懸測
- 86 「SUBARU買収」トヨタの下心

水害の補償額は法人顧客の被害しだいで跳ね上がり、赤字転落もありうる。内憂を打ち消すはずの海外事業は、巨額M&Aが裏目に出て、却って足を引っ張る。業績不振でグループ再編も視界不良に。(68頁)



圧勝と予想されるのに、現職首相が総裁選に全力をあげる見苦しさ。3期目早々の「死に体」化を恐れるからだ。「進次郎イジメ」まで始めたが、かえって地方党員の離反は進む。一強は名ばかりだ。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 財政秩序を「放棄」した財務省
- 48 安倍の「賞味期限」はいつまでか
- 52 連載「政界スキャン」白けて空疎なる「安倍三選確実」
- 54 通商外交「亡国」の安倍政権—米国の狼藉に無抵抗の「腰抜け首相」
- 56 総裁派閥「清和会」に人材なし
- 58 連載「罪深きはここの官僚」淵上孝文料官團大学法人支援課長—東京医大「裏口入学」のキーマン

米国は誰の同盟国なのか

—欧州よりロシアを選ぼうトランプ

- 6 米国を襲う「トランプ農業恐慌」
- 12 認知症患者が「銃保有」する米国—近親者「射殺」の悲劇が増加中
- 16 オーストリアが「欧州右傾化」の主役に—若き首相の「移民制限」に各国が共感
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 バルカン半島に「中国マネー」の猛威—インフラ投資で「EU分断」を画策
- 24 ロシア謀略機関「GRU」の悪行三昧—世界で暗躍する「プーチンの飼犬」
- 28 メソボタミア「渇水」の惨状—イラクから「環境難民」が溢れ出る
- 30 イラン「政権転覆」に本腰の米国
- 32 インド経済「急失速」の暗雲—迫る金融危機と原油高の痛手
- 34 習近平「独裁」に長老たちの反旗
- 36 中国輸出産業界の「顔面蒼白」
- 38 連載「現代史の言霊」一九六八年八月の戦車（チエコ事件）

ロシアを「敵ではない」と言い、ドイツを敵視するトランプ。その真意が、米国第一主義に基づく欧州駐留米軍の縮小ないし撤退なら、NATOは瓦解したも同然だ。同盟の亀裂は日本にも波及する。(6頁)

